

エコチル調査 シンポジウム

オンライン
開催



エコチル調査とは

環境中の化学物質が、子どもの健康にどのように影響するのかを明らかにし、子どもたちが安心して健やかに育つ環境をつくるために実施している調査。全国約10万組の親子が調査に参加しています。

エコチル調査 検索 <https://www.env.go.jp/chemi/ceh/>



お ぎ な お き
尾木 直樹 先生



そ ん み ひ ん
宋 美玄 先生

エコチル調査は、2022年1月で12年目に入り、全国約10万組の親子の皆さまのご協力によって、健康と環境の関係についてたくさんの方が分かってきました。調査によってどのようなことがわかったのか？ 今後、エコチル調査の成果によって私たちの生活が、そして子どもたちの未来がどのように変わるのか？ エコチル調査の研究者たちをはじめ、エコチル調査サポーターでいらっしゃる教育評論家の尾木先生や産婦人科医の宋先生を招いて、ともに考えていきましょう。

プログラム

〈司会〉田村 あゆち (フリーアナウンサー)

開会挨拶

穂坂 泰 環境大臣政務官(内閣府大臣政務官兼務)

環境省からのお知らせ

田中 桜 環境省大臣官房環境保健部環境安全課環境リスク評価室長

講演 1

(13:40~14:20)

エコチル調査研究成果紹介

森崎 菜穂 先生 エコチル調査九州大学サブユニットセンター

土屋 恭一郎 先生 エコチル調査甲信ユニットセンター

上島 通浩 先生 エコチル調査運営委員会委員長 ほか

講演 2

(14:20~14:50)

未来を生きる子どもたちの 現状と課題 ~エコチル調査から考える~

尾木 直樹 先生 教育評論家・法政大学名誉教授・臨床教育研究所「虹」所長

パネル

ディスカッション
(15:00~15:55)

私たちの健康と環境

—エコチル調査によって子どもたちの未来が
どのように変わるのか—

◎コーディネーター

山縣 然太郎 先生 エコチル調査戦略広報委員会委員長

◎パネリスト(五十音順)

尾木 直樹 先生 教育評論家・法政大学名誉教授・臨床教育研究所「虹」所長

宋 美玄 先生 産婦人科医 医学博士・性科学者

大矢 幸弘 先生 エコチル調査メディカルサポートセンター長

上島 通浩 先生 エコチル調査運営委員会委員長

中山 祥嗣 先生 国立環境研究所エコチル調査コアセンター次長

山崎 新 先生 国立環境研究所エコチル調査コアセンター長

閉会挨拶

神ノ田 昌博 環境省大臣官房環境保健部長

日時

2022年

2月20日(日)

13:30~16:00(予定)

オンライン開催(ライブ配信)
事前申込不要・参加無料



◎YouTubeライブ

<https://youtu.be/JvmxOcRtR6E>

◎視聴者アンケート

<https://env-ecochil.com>



◎アンケート受付期間

受付開始▶2月20日(日)シンポジウム当日

受付終了▶2月28日(月)12:00まで

お問合せ

第11回 エコチル調査シンポジウム事務局

(株式会社オーエムシー内 担当:朱雀/近藤)

TEL▶03-5362-0117

MAIL▶ecochil_sympto@omc.co.jp

※本シンポジウムは、環境省からの業務委託により
株式会社オーエムシーが事務局を務めています。



おぎ なお き
尾木 直樹 先生

教育評論家・法政大学名誉教授・
臨床教育研究所「虹」所長

講演者／パネリスト(ゲスト)

1947年滋賀県生まれ。早稲田大学卒業後、私立海城高校、東京都立中学校教師として、22年間ユニークで創造的な教育実践を展開。その後22年間大学教育に携わり、合計44年間教壇に立つ。2004年に法政大学キャリアデザイン学部教授に就任。2012年4月法政大学教職課程センター長・教授。定年退官後、現在は法政大学名誉教授。フジテレビ「ホンマでっか!?TV」、Eテレ「ウワサの保護者会」などの多数の情報・バラエティ・教養番組にも出演。「尾木ママ」の愛称で幼児からお年寄りにまで親しまれている。



そん み ひょん
宋 美玄 先生

ウィメンズヘルスリテラシー協会 代表理事、日本ガスケアプローチ協会
代表理事、丸の内の森レディースクリニック院長、産婦人科医 医学博士・性科学者、日本周産期・新生児学会会員、日本性科学学会会員

パネリスト(ゲスト)

1976年兵庫県神戸市生まれ。大阪大学医学部医学科卒業後、大阪大学医学部附属病院、りんくう総合医療センターなどを経て川崎医科大学講師に就任する。2009年ロンドンのFetal Medicine Foundationへ留学し、胎児超音波の研究を積む。帰国後、川崎医科大学医学研究科博士課程卒業。現在は、丸の内の森レディースクリニックの院長として周産期医療、女性医療に従事する傍ら、テレビ、インターネット、雑誌、書籍で情報発信を行う。産婦人科医の視点から社会問題の解決、ヘルスリテラシーの向上を目的とし活動中。

やま がた ぜん た ろう
山縣 然太郎 先生

エコチル調査甲信ユニットセンター長
参加者コミュニケーション専門委員会委員長、戦略広報委員会委員長
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授

コーディネーター

専門は公衆衛生学、疫学、人類遺伝学。社会医学系専門医・指導医。地域で33年間に及び出生コホート研究、18年間継続中の高齢者コホート研究を実施中。研究がバナンス、先端科学と社会との接点も研究テーマ。山梨医科大学卒業。米国カリフォルニア大学アーバイン校(UCI)小児科学講座留学などを経て現職。成育基本法の成育医療等協議会副座長など国の各種委員。「研究は住民に始まり住民に終わる」がモットー。

おお や ゆき ひろ
大矢 幸弘 先生

エコチル調査メディカルサポートセンター長
国立成育医療研究センター アレルギーセンター センター長

パネリスト

小児科医でアレルギーが専門。疫学や行動医学を研究と診療に応用している。エコチル調査の質問票や医学的検査の開発を行うメディカルサポートセンターを率いている。名古屋大学医学部卒業、同小児科、国立名古屋病院小児科、国立小児病院アレルギー科、国立成育医療センターの初代アレルギー科医長を経て、現職。

かみ じま みち ひろ
上島 通浩 先生

エコチル調査愛知ユニットセンター長
エコチル調査運営委員会委員長
名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学教授

講演者／パネリスト

専門は衛生学。化学物質による健康リスクの解明をテーマに研究を行っている。エコチル調査では愛知ユニットセンター長、エコチル調査運営委員会委員長を、また、他に環境省中央環境審議会専門委員等も務める。東北大学医学部を卒業後、米国カリフォルニア大学バークレー校自然資源学部環境科学政策管理学講座客員研究員、名古屋大学大学院医学研究科環境労働衛生学准教授などを経て、現職。

なか やま しょう じ
中山 祥嗣 先生

国立環境研究所エコチル調査コアセンター次長

パネリスト

岡山大学医学部、大学院医学研究科卒業。専門は公衆衛生、環境保健、曝露科学。社会医学系専門医・指導医。2005年U.S. Environmental Protection Agency: EPAの招聘を受け、以降6年間、EPAで新規汚染物質の曝露評価およびリスク管理に携わる。2011年より国立環境研究所。エコチル調査を環境医学の面から支えるたかわら、曝露科学に関してEPAやEU、アジア諸国との共同研究を進めている。筑波大学大学院客員教授、聖路加国際大学連携大学院教授。

やま ざき しん
山崎 新 先生

国立環境研究所エコチル調査コアセンター長

パネリスト

エコチル調査全体の運営を行うコアセンター長。エコチル調査の研究計画の調整や実施上の様々な課題の解決に日々尽力している。瞑想は欠かせない。長く大気汚染の疫学研究にたずさわる。京都大学工学部衛生工学科卒業。京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻准教授、国立環境研究所環境疫学研究室長、同環境リスク・健康研究センター副センター長を経て、現職。